

その他

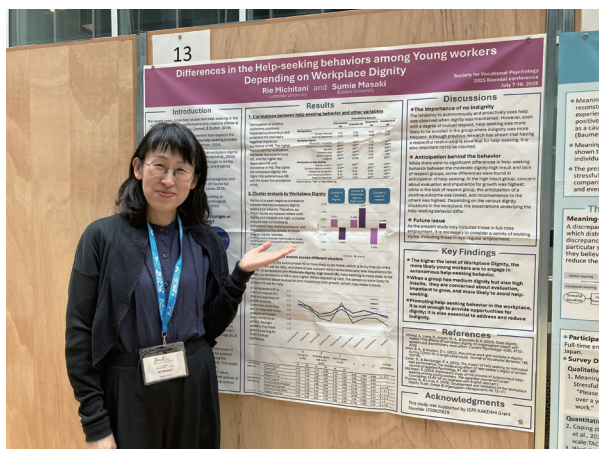
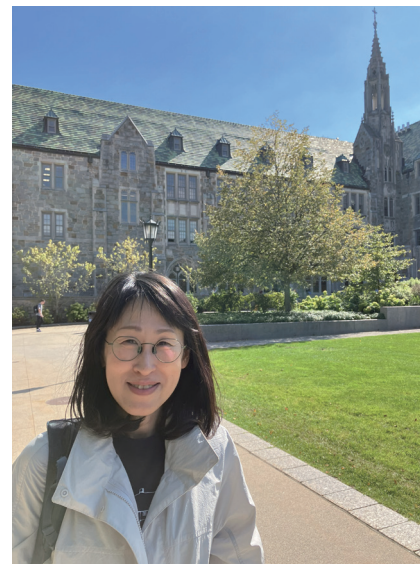
ボストンカレッジでのサバティカル研修報告

道谷 里英

2025年4月より6カ月間、米国ボストンカレッジでサバティカル研修の機会をいただきました。ボストンカレッジは、1863年にイエズス会によって設立されたカソリック系の総合大学です。ボストン中心部から車で30分ほど離れた場所にあり、自然に囲まれた素晴らしいキャンパスを持つ大学です。

サバティカル研修期間中は、Department of Counseling, Developmental, and Educational Psychology に所属し、社会正義を志向したキャリアカウンセラーの第一人者である David Blustein 教授のもとで研究を行う機会をいただきました。近年、キャリアカウンセリングにおいては、経済的格差や差別等によりキャリア選択の機会が制限された人々への支援のあり方が問われています。そのような状況にある人々を支援する上で、支援者がどのような知識や態度を持ち、どのような役割を果たすべきかを議論する機会に恵まれました。日本ではまだ十分には注目を集めていないテーマであるため、学びを深めながら海外の研究者と議論することによって、日本の状況を客観的に捉えることができました。ボストンは職業指導 (Vocational guidance and counseling) 発祥の地でもあり、自分の仕事の原点に触れる機会となりました。

研修期間中、アトランタで開催された National Career Development Association 大会や、スイスのローザンヌで開催された Society of Vocational Psychology (SVP) 大会へ参加し、世界中の研究者・支援者との交流の機会も得ました。SVP では、職場における尊厳と援助要請との関連について日本で行った調査結果を発表しました。



帰国後は、複数のセミナーや学会で成果報告をする機会や、Blustein 教授による日本での講演の司会を担当する機会も得て、ボストンでの経験が着実に次の研究につながっています。今後は、日本における社会正義のキャリア支援の発展につながる研究や支援プログラムの開発を進めていく予定です。

このような貴重な機会をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。